

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270101363
法人名	社会福祉法人青空会
事業所名	グループホーム青空倶楽部奥野館
所在地 (電話番号)	〒030-0841 青森県青森市奥野2丁目27-10 (電話) 017-763-4570

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 2月 23日	評価確定日	平成 20年 4月 8日

【情報提供票より】(平成 20年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)14年 3月 15日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 4.52人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	3 階建ての 階 ~ 3 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	夏期10,000~冬期18,000 円
敷 金	有(30,000円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(1月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	5 名	女性	4 名
要介護1	0 名	要介護2	4 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 79 歳	最低	57 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	あおもり協立病院・ミナトヤ歯科
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームは交通の便が良く、近くには大型スーパーがあり買物に出かけやすい場所にある。又、「紅葉見学」や「ねぶた祭り」など外出することでホームに引きこもらないよう環境作りがなされている。職員は経験豊富で入居者一人ひとりの状態に合わせたケアが行われ、活気がみられるホームである。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点(ホーム入口の表示等)については運営推進会議や、職員間でも話しあい、改善にむけて取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価は職員に相談・聞き取りしながら作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>ホ - ムに於けるケアの実際を報告し、参加者から意見要望を頂きサ - ビスの向上につなげている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>家族と懇親会等を行う事により、意見や要望を話しやすい信頼関係を築いている。又、寄せられた意見や要望は職員だけでなく理事長も含めて検討し、改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>同敷地内にあるアパート住民にも避難訓練などへの参加を声掛けしている。今のところ参加はみられていない状態だが、今後も続けることを期待したい。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念を掲げており、パンフレットやホームページにも載せ分かりやすく説明がされている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ケア会議やケアプラン作成においても理念を含めた話し合いがされている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	食材の買い物など近隣の商店やスーパーを利用し、散歩時は積極的に挨拶を交わしている。		運営推進会議等に副町会長や民生委員の参加もあることから、町内の行事や地域活動の際には声かけをして頂くよう積極的に働きかけ、地域高齢者の拠点として気軽に交流できるよう取り組むことを期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価作成時や外部評価結果について職員とも話し合い、改善に向けて取り組んでいる。</p>		
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>概ね2ヶ月に1回開催されており、行政の参加は初回のみであるが、町会長や民生委員・家族も含めて10～7名程の参加がある。意見交換や助言を受け、利用者へのサービス向上へ反映されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議の議事録や外部評価結果等の報告をし、サービスの向上・運営等について連絡相談を行っている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在、利用している方が居らず、管理者もその必要性を理解して積極的に外部研修を受けるまでには至っていない。</p>		<p>全職員に権利擁護や成年後見制度についての情報提供や、家族にも理解して頂き、必要時に支援できるよう積極的な姿勢が望ましい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>管理者以外、全職員の共通の認識までには至っていない。</p>		<p>全職員がミーティングやケア会議において虐待の防止について話し合い、共通の理解をもって日頃のケアに取り組むことが望ましい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居時や退去時に十分な説明を行い理解されていた。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>毎月、日頃の暮らしぶりや健康状態・金銭管理表の報告書・個人新聞を作成し報告されていた。担当している職員の異動があったときは家族へ報告をしている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時以外にも、行事の後などに懇親会を設け、忌憚のない話し合いの場を設定している。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動は定期的実施しているが、年間1名程度で利用者に動揺を与えない程度に配慮している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験年数や力量に応じて計画的に研修会への参加を促しており、ケア会議後に伝達研修を行っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	研修会参加を機に、参加施設と情報交換をしたり、近隣の施設のお祭りに参加するなど、ネットワーク作りを通して情報交換をしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気にならぬよう徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に利用者・家族の施設見学を実施し、意向を聞きながら徐々に馴染んでいただくよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者を人生の先輩として、日々の援助の中で出来ることはお手伝いをお願いしたり、会話を通じて癒されるなど、共に支えあう関係を築いている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者・家族の意向や希望を踏まえてセンター方式を活用してニーズを把握し、サービスの提供に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>日頃から利用者、家族の意向をとりいれてミーティングを行い、それをもとに介護計画を作成している。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>基本的に半年ごとに介護計画を見直しすることになっているが、日常生活の中で変化があればその都度話し合い、随時介護計画の見直しを行っている。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>24時間訪問看護の利用ができる他、本人や家族の要望に応じ病院受診等柔軟に対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>利用前からのかかりつけ医への受診の支援もしているが、本人・家族の同意が得られれば協力医療機関をかかりつけ医とし、定期的な往診をしていただき健康管理が行われている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>利用者の状況に応じ、24時間体制の訪問看護の利用や終末期に向けて家族・主治医等と相談し、支援に取り組んでいる。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の取り扱いについては本人・家族に説明し同意を得ている。利用者の誇りやプライバシーの保護に関しても職員はさりげなく気配りをした援助を行っている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>本人、家族より生活パターンを把握し、できるだけ自宅での生活のペースを崩さない、一人ひとりに沿うような援助を行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>買い物や食事の準備など一人ひとりが出来ることのお手伝いや、献立や調理の仕方など職員と一緒に楽しい雰囲気作りを支援している。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の入浴日は決めているが、本人の希望や失禁時への臨機応変に対応できる体制を整え支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>職員が一人ひとりの生活歴に合わせて、食事の後片付けや掃除のお手伝いなど些細なことでも声をかけ、生活意欲を引き出すような支援に努めている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>屋外での活動や近隣スーパーへの日用品の買出し等、個別に日常的な外出の支援がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>運営者や管理者は身体拘束をしないケアについて理解はしているが、職員に対して身体拘束の無いケアの周知徹底は行われていない。</p>		<p>外部研修への参加やミーティング等で禁止行為等について話し合い、理解を深めることを期待します。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>夜間以外は鍵を掛けない支援をしている</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年4回避難訓練を行っており、運営推進会議等でも地域住民の協力を得られるよう働きかけをしている。</p>		<p>マンションの3階フロアがホームとなっていることもあり、ベランダが避難場所となるので、ベランダへの出入り口が常に避難通路として確保できていることを期待したい。又、夜間や地震想定訓練も実施し、マニュアルを検証されることを期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>職員も一緒に食事をしているので一人ひとりの摂取量や水分量の把握をしており、体調によって無理強いせず、食事内容の検討や補助食品の利用をしつつ、一人ひとりに合った食事の支援をしている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症予防マニュアルは作成されているが、対応について職員間の共有がなされていない。</p>		<p>マニュアルに対する理解を深め、職員間で共有することを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>少し雑然とした感はあるが、一人ひとりが居心地の良い場所の確保が出来ている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>リネンは疥癬予防の為にリースを利用しているがそれ以外は、家族の写真や入所前ら慣れ馴染んで使っている椅子や位牌等の持込がされ、思い思いの空間作りがされている。</p>		

 は、重点項目。